

# CASBEE® 大阪みらい 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

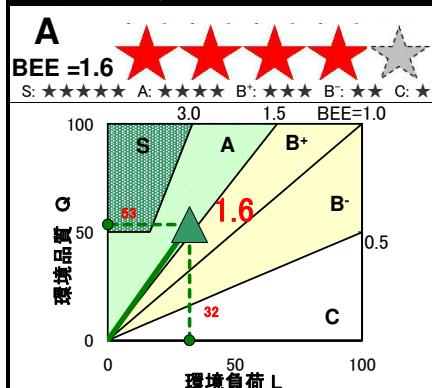
## 1-1 建物概要

建物名称	(仮称)淀川区三津屋北2丁目計画 新築工事	
建設地	淀川区三津屋北2丁目	
建築用途	共同住宅	
建築主	大阪ガス都市開発(株)、住友不動産(株)	
設計者	(株)長谷エコーポレーション	
敷地面積	2,899.17	m <sup>2</sup>
建築面積	1,004.15	m <sup>2</sup>
延床面積	9,980.40	m <sup>2</sup>
構造/階数	RC造	/ 地上14階
完了年(予定)	2024年5月	

## 1-2 外観



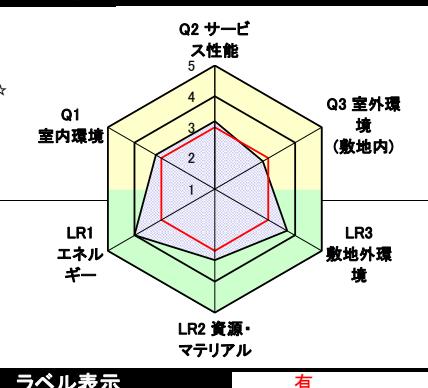
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

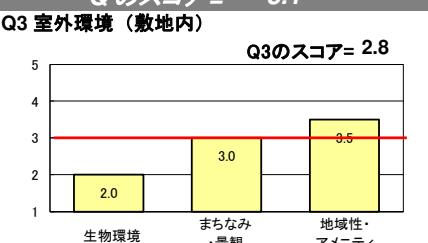
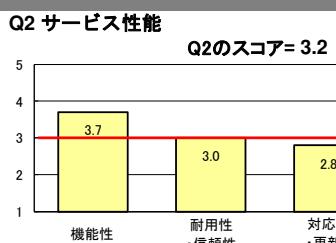
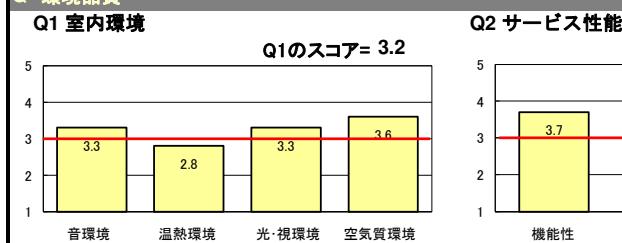


## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

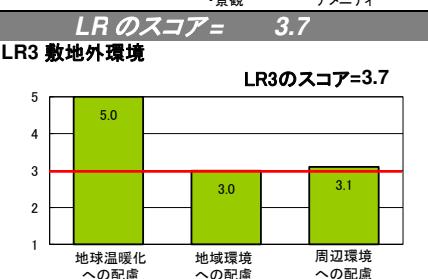
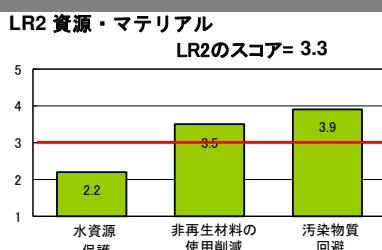
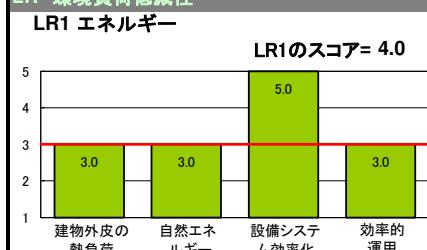


## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

### Q 環境品質



### LR 環境負荷低減性



## 3 設計上の配慮事項

### 総合

良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また、環境と負荷軽減に配慮し快適な室内環境を整えるよう努めた。

### その他

特になし。

### Q1 室内環境

ホルムアルデヒドの発散を抑制したF★★★★の建材をほぼ全面的に使用することで、空気質環境の向上を図った。

### Q2 サービス性能

機能性に配慮し、各住戸に1GB以上のブロードバンドを配置してインターネット設備の快適性に配慮した。

### Q3 室外環境(敷地内)

敷地内に中高木を多数植栽するなどにより敷地内の温熱環境の向上を図り、建物利用者及び周辺住民が自然に親しめるように公開空地を設けることで、アメニティへの配慮を行った。

### LR1 エネルギー

全住戸にエネファーム(家庭用燃料電池)を採用し、一次エネルギー消費量を抑えることで、高いレベルで設備の高効率化を図った。

### LR2 資源・マテリアル

リサイクル材、エコマーク商品を積極的に採用し、資材の使用量削減に努めた。室内環境だけでなく広く環境に影響を及ぼす可能性のある化学物質を含まない材料を使用することで、汚染物質回避に努めた。

### LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO<sub>2</sub>排出率を参照値より抑制し、地球温暖化に配慮した計画とした。駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。屋外広告物照明の設置をなくし、周辺への光害に配慮している。

# 建築物環境性能表示 結果 [重点評価]

総合評価BEE = 1.6

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	5.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 / 3.2 / 敷地内温熱環境の向上	4.0
LR3/ 2 / 2.2 / 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	3.0
配慮事項	

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	

## 省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	
--------	--

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
(基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

住宅部分 (品確法等級)	非住宅部分[BPI][BPIm]
外皮性能 等級3 (相当)	-
建物全体[BEI][BEIm]	
一次エネルギー消費量 0.70	0.70
住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	-